

作成日：西暦 2021 年 4 月 13 日

2000年1月～2020年12月に皮膚科を受診された方へ

～皮膚病変部の写真を用いたデータベース構築の説明文書～

臨床研究課題名：皮膚疾患画像ナショナルデータベースの構築とAI活用診療支援システムの開発

1. この研究を計画した背景

あなたが身近な地域で日常的な医療を受けたり、健康相談ができる医師として、かかりつけ医がいます。今後、国の政策としてこのかかりつけ医を推進する方針であり、皮膚疾患についてもある程度はかかりつけ医が診療することになります。しかし、すべてのかかりつけ医が皮膚診療に十分に習熟することは困難であり、皮膚がんをはじめとした命に関わる皮膚病の誤診や見逃しは、重大な問題になると考えられます。適切な皮膚科診療を補助するツールを作ることは、かかりつけ医が健全な医療を提供するのに重要です。

2. この研究の目的

そこで、人工知能(AI)を用いることにより、皮膚科診療を補助することができ、遠隔診療も可能になると考えられます。しかし、AIの開発には大量の皮膚病の写真が必要です。この研究では、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)による研究費を財源とし、国家的な皮膚病データベースを作成することを目的とします。データベース作成のため、名古屋市立大学皮膚科で保管している皮膚疾患の写真を、そのデータベースに提供いたします。

写真のある全ての方が対象者となります。個人を判別できる可能性のある写真(例：顔面全体の写真、特徴的な刺青、詳細な指紋など)を除外しますので、個人が特定できるような写真及び臨床情報は一切提供しません。

なお、この研究は、以下の研究者によって本院にて実施しています。

研究責任者：皮膚科 烏居寛

皮膚科 森田明理

皮膚科 金山佳史

また、共同研究組織は以下のようになっております。

研究代表施設：筑波大学皮膚科・藤澤 康弘

研究参加施設一覧：

1. 大阪大学 皮膚科 教授 藤本 学
2. 浜松医科大学細胞分子解剖学講座 特任教授 戸倉 新樹
3. 東北大学 皮膚科 准教授 山崎 研志

4. 東京大学 皮膚科 教授 佐藤 伸一
5. 慶應義塾大学 皮膚科 教授 天谷 雅行
6. 東京女子医科大学 東医療センター 教授 田中 勝
7. 日本医科大学武蔵小杉病院 教授 安齋 眞一
8. 新潟大学 皮膚科 教授 阿部 理一郎
9. 山梨大学 皮膚科 教授 川村 龍吉
10. 信州大学 皮膚科 教授 奥山 隆平
11. 京都大学 皮膚科 教授 梶島 健治
12. 高知大学 皮膚科 教授 佐野 栄紀
13. 九州大学 皮膚科 講師 伊藤 孝通
14. 熊本大学 皮膚科 准教授 福島 聰
15. 琉球大学 皮膚科 教授 高橋 健造
16. 慶應義塾大学 医療政策・管理学 宮田 裕章
17. 東北大学 東北メディカルメガバンク機構 教授 長崎 正朗
18. 理化学研究所 革新知能統合研究センター 病理情報学ユニット リーダー
19. 理化学研究所 革新知能統合研究センター 遺伝統計学チーム リーダー
20. 国立情報学研究所 アーキテクチャ科学研究系 教授 合田 憲人
21. 国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系 教授 佐藤 真一
22. 東京大学 附属病院 教授 大江 和彦
23. 東京農工大学 工学研究院 教授 清水 昭伸
24. 産業医科大学 皮膚科 教授 中村 元信
25. 大阪市立大学 皮膚科 教授 鶴田 大輔
26. 鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科 部長 松下 茂人
27. 大阪みなと中央病院 皮膚科 部長 三浦 宏之
28. 三重大学 皮膚科 助教 後藤 啓元
29. 静岡済生会総合病院 皮膚科 部長 松本 賢太郎
30. 金沢大学 皮膚科 教授 松下 貴史
31. 沼津市立病院 皮膚科 部長 秦 まさ
32. 平塚市民病院 皮膚科 科長 栗原 佑一
33. 藤田医科大学 皮膚科 准教授 有馬 豪
34. 横浜市立みなと赤十字病院 皮膚科 部長 渡邊 憲
35. 奈良県立医科大学 皮膚科 准教授 新熊 悟
36. 島根大学 皮膚科 助教 越智 康之
37. 日本医科大学多摩永山病院 皮膚科 准教授 長田 真一
38. 近畿大学奈良病院 皮膚科 教授 山田 秀和

39. 国立病院機構仙台医療センター 皮膚科 部長 飯澤 理
40. 県立広島病院 皮膚科 部長 田中 麻衣子
41. 順天堂大学医学部附属練馬病院 皮膚科 准教授 深井 達夫
42. JCHO 金沢病院 皮膚科 医長 小村 一浩
43. 岡山市立市民病院 皮膚科 部長 岡崎 布佐子
44. 群馬大学 皮膚科 助教 渋沢 弥生
45. 虎の門病院 皮膚科 部長 林 伸和
46. 福井大学 皮膚科 医員 笠松 宏至
47. 大阪病院 皮膚科 部長 竹原 友貴
48. 滋賀医科大学 皮膚科 講師 加藤 威
49. 国際医療研究センター病院 皮膚科 科長 玉木 納
50. 南和歌山医療センター 皮膚科 医長 南 宏典
51. 宝塚市立病院 皮膚科 部長 山本 哲
52. 東京女子医科大学病院 皮膚科 助教 宮田 龍臣
53. 広島大学 皮膚科 助教 松尾 佳
54. 京都府公立大学法人京都府立医科大学 皮膚科 助教 小森 敏史
55. 東邦大学大森病院 皮膚科 准教授 石井 健

3. この研究の方法

2000年1月～2020年12月に当院皮膚科を受診され、皮膚病変部の写真を撮影した患者さんにおいて、皮膚病変部の写真とその診断名、年齢、性別、診断根拠となった臨床情報、治療内容、転帰などの情報を、データベースの運営をしている筑波大学に提供します。

4. この研究に参加しなくても不利益を受けることはありません。

この臨床研究にあなたの医療情報を使用することについて、いつでも参加を取りやめることができます。途中で参加を取りやめる場合でも、今後の治療で決して不利益を受けることはありません。

5. あなたのプライバシーに係わる内容は保護されます。

研究を通じて得られたあなたに係わる記録が学術雑誌や学会で発表されることがあります。しかし医療情報などは匿名化した番号で管理され、個人が特定できるような写真及び臨床情報は一切使用しません。あなたのプライバシーに関わる情報（住所・氏名・電話番号など）は保護されます。

6. 得られた医学情報の権利および利益相反について

本研究により予想される利害の衝突はないと考えています。本研究に関わる研究者は「厚生労働科学研究における利益相反 (Conflict of Interest : COI) の管理に関する指針」を遵守し、研究者の所属機関の規定に従って COI を管理しています。

7. この研究は必要な手続きを経て実施しています。

この研究は、公立大学法人 名古屋市立大学大学院 医学研究科長および名古屋市立大学病院長が設置する医学系研究倫理審査委員会（所在地：名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1）において医学、歯学、薬学その他の医療又は臨床研究に関する専門家や専門以外の方々により倫理性や科学性が十分であるかどうかの審査を受け、実施することが承認されています。またこの委員会では、この研究が適正に実施されているか継続して審査を行います。

なお、本委員会にかかる規程等は、以下、ホームページよりご確認いただくことができます。

名古屋市立大学病院 臨床研究開発支援センター ホームページ “患者の皆様へ”
<http://ncu-cr.jp/patient>

8. 本研究について詳しい情報が欲しい場合の連絡先

この臨床研究について知りたいことや、ご心配なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。また、この研究にあなたご自身のデータを使用されることを希望されない方は、ご連絡ください。

なお、すでに写真が加工されて機械学習に使用されるなど、研究の進捗状況によっては特定の写真を取り除くことができない場合があります。

名古屋市立大学病院 臨床研究開発支援センター
連絡先 平日（月～金） 8:30～17:00 TEL(052)858-7215